

『眠る』 作：ポチ子

『眠る』 作：ポチ子

眠ったら、

明日が来ちゃうのか。

それなら眠りたくないな。

ずっと起きてよう。

でもさ、

目を開けていたら、

どんだん外が明るくなって朝になる。

それはそれで怖い。

夜ってどうして終わるの？

なんで明日って必ず来るんだろう。

わたし一人くらい、

今日に置いていってもいいよ。

泣いたりしないし、

やっぱり明日に行きたいなんて、

わがまま言わないからさ。

— 終わり —